資料10

ボーリング柱状図

調査名　第83号 野辺地町庁舎等新築工事地質調査業務　　ボーリングNo

事業・工事名　　シートNo

ボーリング名	No.1（庁舎棟）	調査位置	青森県上北郡野辺地町字野辺地、浜掛地内　北緯 40° 52′ 04.7″
発注機関	野辺地町	調査期間	平成 30年 8月 20日 ～ 30年 8月 24日　東経 141° 7′ 26.4″
調査業者名	株式会社 小川ボーリング建設工業 電話（0175-78-2622）	主任技師	市沢 哲雄　現場代理人 市沢 哲雄　コア鑑定者 市沢 哲雄　ボーリング責任者 久末 文彦
孔口標高	KBM -0.247m	角度	上 180° 90°　下 0° 0°　方向 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°　地盤勾配 水平 0°　鉛直 90° 0°	試錐機	東邦製D-1型　ハンマー落下具	半自動型
総掘進長	30.34m			エンジン	ヤンマー製TF-120　ポンプ	扶桑工業製V-6型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.65	0.22	0.22		表土	黒ボク	暗灰黒		砂石、植物根を混入。
	-0.87	0.15	0.37						
1					ローム	茶		軟らかい	ローム支持の粘性土。強い粘性状態。0.40～0.60mに降下軽石が分布。1.00～1.50mは、淡み出しあを認める。
2									
3	-4.15	3.55	3.90						
4	-5.05	0.90	4.80		礫混じり砂	暗黄	中位		細砂支持の砂、鉄化層（亜円細礫～直径40mm）を挟む。
5	-6.10	1.05	5.85		砂礫	暗茶～茶	中位		礫支持の砂礫、直径10～40mmの亜円礫、基質は粘性土に加え亜円細礫。
6					シルト	淡暗青	中位	硬い	シルト支持の粘性土。有機物を点在。
7	-7.05	0.90	6.80						
8					軽石混じり粘性土	灰／濃灰		固結した	大山灰支持の粘性土。所々、砂質土～砂質土。軽石1粒～直径5mm、直径35mmの亜角礫が点在。
9	-9.15	2.10	8.90						
10					シルト混じり砂	黄褐	中位／緩い		細砂～緻密砂支持の砂質土。低角度のラミナが分布。粗粒土に加え粘性土を挟む。
11									
12	-12.55	3.40	12.30						
13					シルト質砂	褐／黄褐	中位／緩い		細砂～緻密砂支持の砂質土。火山灰支持の粘性土～砂質土を挟む。
14									
15	-15.05	3.50	15.80						
16					細砂	暗黄	非常に密な／密な		細砂支持の砂。粒度整っている。
17									
18	-18.95	3.90	19.70						
19					シルト質砂	暗黄／赤暗褐	中位／緩い		細砂～緻密砂支持の砂質土。火山灰支持の粘性土を塊状態に挟む。小礫に加え直径20mmの軽石を点在。
20									
21	-22.05	3.10	21.80						
22					細砂	暗黄	中位		細砂支持の砂、粒度整っている。所々、小礫の集積層を挟む。27m～下層境界に跨り、火山灰支持の粘性土～砂質土を塊状態に挟む。28.30mに直径30mmの亜円礫を点在。
23									
24									
25									
26									
27									
28	-29.05	7.00	28.80						
29					礫混り砂	暗黄／暗褐	非常に密な		細砂支持の砂、軽石及びその集積層を塊状態に点在。
30	-30.59	1.54	30.34						

孔内水位(m)／測定月日：9/22 1.09

標準貫入試験　N値

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0	10	20	打撃回数／貫入量 (cm) 10	20	30
1.00	0	1	1	1	2	2
1.46	0	30	16	46		
2.15	1	1	1	2	2	2
2.61	1	20	15	35		
3.15	9	7	9	25	25	25
3.46						
4.15	8	5	4	17	17	17
4.46						
5.15	3	2	4	9	9	9
5.46						
6.15	9	10	14	33	33	33
6.45						
7.15	12	13	15	40	40	40
7.45						
8.15	5	6	7	18	30	30
8.45						
9.15	4	4	6	14	30	30
9.45						
10.15	4	4	5	13	30	30
10.45						
11.15	4	5	6	15	30	30
11.46						
12.15	3	4	4	11	30	30
12.46						
13.15	2	3	3	8	30	30
13.46						
14.15	3	5	8	16	30	30
14.46						
15.15	19	27	14	60	25	
15.40			5			
16.15	12	13	18	43	30	30
16.46						
17.15	12	12	13	37	30	30
17.46						
18.15	3	2	6	11	30	30
18.46						
19.15	2	3	3	8	30	30
19.46						
20.15	7	8	12	27	30	30
20.46						
21.15	7	8	10	25	30	30
21.46						
22.15	5	7	8	20	30	30
22.46						
23.15	7	8	12	27	30	30
23.46						
24.15	6	8	14	28	30	30
24.46						
25.15	9	10	16	35	30	30
25.46						
26.15	6	6	10	22	30	30
26.46						
27.15	4	4	8	16	30	30
27.46						
28.15	14	19	25	58	30	30
28.46						
29.15	19	41		60	30	
29.46		9		19		95
30.34						

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
2.79	孔内水平載荷試験 E=5,616kN/m2
3.30	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
5.15	P1-5	○ 固定水圧
5.46		
10.15	P1-10	○ 固定水圧
10.46		
13.15	P1-13	○ 固定水圧
13.46		
14.15	P1-14	○ 固定水圧
14.46		
19.15	P1-19	○ 固定水圧
19.46		

掘進月日：9/21 ～ 9/22

ボーリング柱状図

調査名　第83号 野辺地町庁舎等新築工事地質調査業務　　ボーリングNo

事業・工事名　　シートNo

ボーリング名	No.2（庁舎棟）	調査位置	青森県上北郡野辺地町字野辺地、浜掛地内　北緯 40° 52′ 04.9″
発注機関	野辺地町	調査期間	平成 30年 8月 20日 ～ 30年 8月 24日　東経 141° 7′ 25.2″
調査業者名	株式会社 小川ボーリング建設工業 電話（0175-78-2622）	主任技師	市沢 哲雄　現場代理人 市沢 哲雄　コア鑑定者 市沢 哲雄　ボーリング責任者 久末 文彦
孔口標高	KBM -0.163m	角度	上 180° 90°　下 0° 0°　方向 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°　地盤勾配 水平 0°　鉛直 90° 0°	試錐機	東邦製D-1型　ハンマー落下具	半自動型
総掘進長	30.40m			エンジン	ヤンマー製TF-120　ポンプ	扶桑工業製V-6型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-1.06	0.90	0.90		黒ボク	黒			植物根を混入。
	-1.51	0.45	1.35		軽石	黄褐		軟らかい	軽石1粒～直径10mm、基質は粘性土～砂質土。
1					ローム	茶		軟らかい	ローム支持の粘性土。強い粘性状態。鉄化物を点在。
2									
3	-3.86	2.35	3.70						
4	-4.96	1.10	4.80		礫混じり砂	暗黄	中位		細砂支持の砂、鉄化層（亜円細礫～直径30mm）を挟む。
5	-6.21	1.25	6.05		砂礫	暗茶	中位		礫支持の砂礫。直径20～30mmの亜円礫、基質は粘性土に加え亜円細礫。
6					シルト	暗灰	中位		シルト支持の粘性土。
7	-7.26	1.05	7.10						
8	-8.06	0.80	7.90		シルト質砂	濃灰	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。直径35mmの角礫を点在。粘性土を薄層に挟む。
9	-9.41	1.35	9.25		粘性土	灰		非常に軟い	粘土支持の粘性土。細砂～緻密砂を混濁と状態に挟む。
10									
11	-11.96	2.45	11.70		砂礫	暗緑／黄褐	密な／非常に密な		礫支持の砂礫。直径20～60mmの亜角～亜円礫。基質は粘性土に加え亜角礫。指先で圧砕する礫を混入。
12									
13					シルト質砂	黄褐	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。火山灰支持の粘性土～砂質土を挟む。12m付近、低角度のラミナが分布。
14									
15	-15.06	3.10	14.90						
15	-15.41	0.35	15.25		火山灰	灰	中位		火山灰支持の砂質土。
16					細砂	暗黄	非常に密な		細砂支持の砂。粒度整っている。直径20～30mmの亜円礫を点在。
17									
18	-18.96	3.55	18.70						
19					シルト質砂	赤暗褐	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。火山灰支持の粘性土を塊状態に挟む。
20	-20.96	2.00	20.70						
21									
22					細砂	暗黄／赤黄褐	密な／中位		細砂支持の砂。粒度整っている。所々、小礫の集積層を挟む。27m～下層境界に跨り、火山灰支持の粘性土～砂質土を挟む。
23									
24									
25									
26									
27									
28	-28.96	8.19	28.80						
29					礫混り砂	暗褐／暗黄	非常に密な		細砂支持の砂、軽石及びその集積層を塊状態に挟む。
30	-30.96	1.60	30.68						

孔内水位(m)／測定月日：9/22 1.09

標準貫入試験　N値

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0	10	20	打撃回数／貫入量 (cm) 10	20	30
1.15	1	2	1	4	30	
1.46						
2.15	1	1	1	2	30	2
2.46						
3.15	1	1	1	2	30	2
3.46						
4.15	4	6	8	14	30	14
4.46						
5.15	2	1	2	5	30	5
5.46						
6.15	5	6	7	18	30	18
6.46						
7.15	7	7	7	21	30	21
7.46						
8.15	5	10	25	46	30	46
8.46						
9.15	28	32	7	60	30	31
9.46						
10.15	10	11	10	31	30	31
10.46						
11.15	6	5	7	18	30	18
11.46						
12.15	5	7	8	20	30	20
12.46						
13.15	4	4	5	13	30	13
13.46						
14.15	5	8	19	32	30	32
14.46						
15.15	31	21	4	60	30	14
15.40						
16.15	12	26	20	58	30	58
16.46						
17.15	17	30	13	60	22	82
17.46			2			
18.15	5	5	6	16	30	16
18.46						
19.15	4	5	6	15	30	15
19.46						
20.15	10	13	15	38	30	38
20.46						
21.15	12	12	15	39	30	39
21.46						
22.15	12	13	15	40	30	40
22.46						
23.15	10	12	15	37	30	37
23.46						
24.15	8	12	25	45	30	45
24.46						
25.15	15	20	22	57	30	57
25.46						
26.15	7	10	12	29	30	29
26.46						
27.15	5	9	10	24	30	24
27.46						
28.15	13	20	22	69	30	69
28.46						
29.15	20	22	18	69	9	62
29.44			5		25	
30.15						72
30.40						

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
2.79	孔内水平載荷試験 E=5,122kN/m2
3.30	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
5.15	P1-5	○ 固定水圧
5.46		
10.15	P1-10	○ 固定水圧
10.46		
13.15	P1-13	○ 固定水圧
13.46		
14.15	P1-14	○ 固定水圧
14.46		
19.15	P1-19	○ 固定水圧
19.46		

掘進月日：9/21 ～ 9/22

ボーリング柱状図

調査名　第83号 野辺地町庁舎等新築工事地質調査業務　　ボーリングNo

事業・工事名　　シートNo

ボーリング名	No.3（庁舎棟）	調査位置	青森県上北郡野辺地町字野辺地、浜掛地内　北緯 40° 52′ 05.0″
発注機関	野辺地町	調査期間	平成 30年 8月 22日 ～ 30年 8月 27日　東経 141° 7′ 24.1″
調査業者名	株式会社 小川ボーリング建設工業 電話（0175-78-2622）	主任技師	市沢 哲雄　現場代理人 市沢 哲雄　コア鑑定者 市沢 哲雄　ボーリング責任者 久末 文彦
孔口標高	KBM -0.380m	角度	上 180° 90°　下 0° 0°　方向 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°　地盤勾配 水平 0°　鉛直 90° 0°	試錐機	東邦製DO-C型　ハンマー落下具	半自動型
総掘進長	30.44m			エンジン	ヤンマー製NFD-10　ポンプ	東邦製BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.68	0.30	0.30		黒ボク	黒			植物根を混入。
	-1.18	0.50	0.80		軽石	黄褐			軽石1粒～直径10mm、基質は粘性土～砂質土。
1					ローム	茶／黄褐		軟らかい	ローム支持の粘性土。強い粘性状態。3m付近、凝化物を点在。
2									
3	-3.98	2.80	3.60						
4	-5.28	1.30	4.90		礫混じり砂	黄褐	中位		細砂支持の砂、鉄化層（亜円細礫～直径35mm）を挟む。
5	-6.38	1.10	6.00		砂質土	褐～暗茶	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。ラミナの分析と、それに沿う粗粒土を挟む。
6	-6.83	0.45	6.45		粘性土	褐	中位		粘土支持の粘性土。直径5～10mmの亜円礫を点在。砂質土を塊状態に挟む。
7	-7.38	0.55	7.00		シルト	暗灰			シルト支持の粘性土。
8	-8.28	0.90	7.90		シルト質砂	暗灰	緩い		細砂～緻密砂支持の砂質土。直径10～20mmの亜円礫を点在。
9	-8.98	0.70	8.60		粘性土	灰	硬い		粘土支持の粘性土。細砂～緻密砂を混濁と状態に挟む。有機物を点在。
10	-9.78	0.80	9.40		シルト質砂	淡緑	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。有機物を点在。
11					砂礫	暗緑／黄褐	非常に密な／密な		礫支持の砂礫。直径10～40mmの亜角～亜円礫。基質は粘性土に加え亜角礫。
12									
13	-13.53	3.75	13.15						
14	-15.33	1.80	14.95		シルト質砂	黄	密な／中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。火山灰支持の粘性土～砂質土を挟む。
15	-15.78	0.45	15.60		火山灰	灰	密な		火山灰支持の砂質土。
16					細砂	暗黄	非常に密な／密な		細砂支持の砂。粒度整っている。直径5～10mmの亜円礫を点在。
17									
18	-20.08	4.30	19.70						
19					軽石混じり砂	赤暗褐	中位		細砂～緻密砂支持の砂質土。小礫に加え軽石の集積層を薄層～塊状態に挟む。
20	-21.38	1.30	21.00						
21									
22					細砂	暗黄	非常に密な／密な		細砂支持の砂。粒度整っている。所々、小礫の集積層を挟む。27m～下層境界に跨り、火山灰支持の粘性土～砂質土を挟む。
23									
24									
25									
26									
27									
28	-29.08	7.70	28.70						
29					礫混り砂	暗褐／暗黄	非常に密な		細砂支持の砂、軽石及びその集積層を塊状態に挟む。
30	-30.82	1.74	30.44						

孔内水位(m)／測定月日：9/22 1.09

標準貫入試験　N値

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0	10	20	打撃回数／貫入量 (cm) 10	20	30
1.15	2	1	1	4	30	
1.46						
2.15	1	1	1	3	30	3
2.46						
3.15	1	1	1	3	30	3
3.46						
4.15	7	5	4	16	30	16
4.46						
5.15	3	4	3	10	30	10
5.46						
6.15	2	1	2	5	30	5
6.46						
7.15	3	3	3	9	30	9
7.46						
8.15	4	5	6	15	30	15
8.46						
9.15	7	7	10	24	30	24
9.46						
10.15	18	24	18	60	27	67
10.42			7			
10.15	10	18	20	48	30	48
11.46						
12.15	22	38		60	29	90
12.36						
13.15	10	13	17	40	30	40
13.46						
14.15	3	5	6	14	30	14
14.46						
15.15	17	10	13	40	30	40
15.46						
16.15	35	25	5	60	15	120
16.30						
17.15	18	20	22	60	9	62
17.44						
18.15	15	25	20	60	25	72
18.40			5			
19.15	13	15	15	43	30	43
19.46						
20.15	4	6	6	16	30	16
20.46						
21.15	13	25	22	60	25	72
21.40			5			
22.15	18	22	20	60	28	64
22.43			8			
23.15	13	17	30	60	30	60
23.46						
24.15	12	18	22	52	30	52
24.46						
25.15	13	28	19	60	26	69
25.41			6			
26.15	18	28	14	60	24	75
26.39			4			
27.15	10	15	16	41	30	41
27.46						
28.15	8	9	10	27	30	27
28.46						
29.15	18	22	20	60	28	64
29.43			8			
30.15	14	26	20	60	29	62
30.44			9			

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
2.79	孔内水平載荷試験 E=5,122kN/m2
3.30	

掘進月日：9/21 ～ 9/24